(財)財務会計基準機構会員

平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年7月31日

上場会社名　日工株式会社　　上場取引所　東 大
コード番号　6306　URL　http://www.nikko-net.co.jp
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）岸　勝
問合せ先責任者　（役職名）専務取締役財務本部長　（氏名）伊藤 肇　TEL　078-947-3141
四半期報告書提出予定日　平成20年8月13日

（百万円未満切捨て）

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績（平成20年4月1日～平成20年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

（%表示は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	4,307	—	△194	—	△76	—	△107	—
20年3月期第1四半期	5,343	33.9	△163	—	△16	—	△76	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	△2.56	—
20年3月期第1四半期	△1.82	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第1四半期	34,230	24,328	71.0	579.07
20年3月期	34,033	24,570	72.2	585.14

（参考）自己資本　21年3月期第1四半期　24,315百万円　20年3月期　24,570百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
（基準日）	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
21年3月期	—	———	———	———	———
21年3月期（予想）	———	3.00	—	3.00	6.00

（注）配当予想の当四半期における修正の有無　無

3. 平成21年3月期の連結業績予想（平成20年4月1日～平成21年3月31日）

（%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	13,500	—	120	—	220	—	120	—	2.86
通期	27,500	2.1	300	58.0	500	△8.4	250	△51.4	5.95

（注）連結業績予想数値の当四半期における修正の有無　無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）　有
新規　1 社（社名　株式会社前川工業所　）　除外　— 社（社名　）
（注）詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　有
（注）詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更（四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの）
① 会計基準等の改正に伴う変更　有
② ①以外の変更　無
（注）詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）
① 期末発行済株式数（自己株式を含む）　21年3月期第1四半期 42,197,397株　20年3月期 42,197,397株
② 期末自己株式数　21年3月期第1四半期 207,467株　20年3月期 206,302株
③ 期中平均株式数（四半期連結累計期間）　21年3月期第1四半期 41,990,574株　20年3月期第1四半期 42,002,341株

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項
1. 平成20年5月15日発表の通期連結業績予想を修正しておりません。上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料の3ページをご参照ください。
2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

１．連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期のわが国経済は、米国サブプライムローン問題に端を発した世界経済の減速感、原材料価格高騰に伴うコスト増等の要因により、企業の景況感も大幅に悪化してまいりました。

このような状況の中、当社グループに関係の深い建設関連業界も、原材料価格高騰に加え、道路特定財源問題の影響等による公共投資の減少、建築基準法の改正による民間設備投資の遅延等、非常に厳しい経営環境が続いております。

このような環境の中、当社グループの当第１四半期の業績は、売上高が季節的に偏る傾向があるため、連結売上高は４３億７百万円（前年同期比１９．４％減）、損益面では連結営業損失１億９４百万円、連結経常損失７６百万円、連結四半期純損失１億７百万円となりました。

２．連結財政状態に関する定性的情報

当第１四半期末の資産合計は３４２億３０百万円となり、前連結会計年度末と比較して１億９６百万円の増加となりました。

流動資産は、１９１億６３百万円となり、４億１１百万円増加いたしました。　主な要因は、現金及び預金の７億６６百万円増加、たな卸資産の１７億２３百万円増加、受取手形及び売掛金の２１億７３百万円の減少等です。固定資産は、１５０億６６百万円となり、２億１４百万円減少いたしました。主な要因は、投資有価証券の売却によるものであります。

負債は、９９億２百万円となり、４億３９百万円増加いたしました。主な要因は賞与に係る未払金の増加によるものであります。

純資産は、２４３億２８百万円となり、２億４２百万円減少いたしましたが主な要因は、配当金の支払によるものです。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の７２．２％から７１．０％となりました。

（キャッシュ・フローについて）

当第１四半期末の現金及び現金同等物は、５０億４２百万円となり、前連結会計年度に比べ１２億５５百万円増加いたしました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純損失が６６百万円、減価償却費が１億３３百万円、更に運転資金関係で３億７９百万円の収入があり、結果的に８億４７百万円の収入となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金関係による収入が４億８８百万円、投資有価証券の売却による収入が４億９４百万円、有形・無形固定資産の取得による支出が２億４３百万円あり、結果的に５億７５百万円の収入となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払による支出が１億２６百万円あったことにより、 結果的に１億３１百万円の支出となりました。

３．連結業績予想に関する定性的情報

平成２１年３月期の業績予想につきましては、平成２０年５月１５日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

４．その他

（１）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

新規：１社　（新規取得）　［社名：株式会社前川工業所］

（２）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

◎法人税等の計上基準　法定実効税率をベースとした見積実効税率により計算しております。

◎減価償却費の算定方法　予算に基づく年間償却予定額を期間按分し、期中の取得、売却又は除却する固定資産の償却費が重要な場合には調整を行う方法により調整しております。

（３）四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

◎当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

◎棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産については、当第１四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第９号）が適用されたことに伴い、貸借対照表価額については、収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定しております。

これにより、営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失は、それぞれ１０百万円増加しております。

◎「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

当第１四半期連結会計期間より「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第１８号）を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。なお、この変更による損益への影響は軽微であります。

５．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	当第１四半期連結会計期間末 （平成20年６月30日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成20年３月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,177	4,410
受取手形及び売掛金	8,279	10,453
有価証券	140	138
製品	1,005	620
原材料	701	449
仕掛品	2,798	1,710
貯蔵品	64	66
繰延税金資産	200	190
その他	829	754
貸倒引当金	△33	△41
流動資産合計	19,163	18,752
固定資産		
有形固定資産	3,710	3,633
無形固定資産		
のれん	216	165
その他	187	256
無形固定資産合計	403	421
投資その他の資産		
投資有価証券	7,176	7,451
出資金	1,033	1,007
長期貸付金	16	16
繰延税金資産	1,430	1,549
その他	1,462	1,380
貸倒引当金	△166	△178
投資その他の資産合計	10,952	11,226
固定資産合計	15,066	15,281
資産合計	34,230	34,033

（単位：百万円）

	当第１四半期連結会計期間末 （平成20年６月30日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成20年３月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,545	2,621
短期借入金	1,602	1,588
未払法人税等	79	154
未払金	1,847	1,695
繰延税金負債	0	0
賞与引当金	165	276
役員賞与引当金	1	4
受注損失引当金	10	3
その他	931	389
流動負債合計	7,182	6,733
固定負債		
長期借入金	237	188
繰延税金負債	0	9
退職給付引当金	2,035	2,034
役員退職慰労引当金	285	328
その他	160	169
固定負債合計	2,719	2,729
負債合計	9,902	9,462
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,197	9,197
資本剰余金	7,808	7,808
利益剰余金	6,830	7,063
自己株式	△61	△61
株主資本合計	23,774	24,007
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	501	372
為替換算調整勘定	38	190
評価・換算差額等合計	540	562
少数株主持分	12	－
純資産合計	24,328	24,570
負債純資産合計	34,230	34,033

（２）四半期連結損益計算書
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	当第１四半期連結累計期間 （自　平成20年４月１日 至　平成20年６月30日）
売上高	4,307
売上原価	3,115
売上総利益	1,191
販売費及び一般管理費	1,385
営業利益	△194
営業外収益	
受取利息	24
受取配当金	48
持分法による投資利益	39
その他	27
営業外収益合計	138
営業外費用	
支払利息	7
為替差損	9
その他	3
営業外費用合計	20
経常利益	△76
特別利益	
投資有価証券売却益	4
貸倒引当金戻入額	8
特別利益合計	12
特別損失	
投資有価証券売却損	2
特別損失合計	2
税金等調整前四半期純利益	△66
法人税等	56
少数株主利益	△15
四半期純利益	△107

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	当第１四半期連結累計期間 （自　平成20年４月１日 至　平成20年６月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	△66
減価償却費	133
のれん償却額	6
持分法による投資損益（△は益）	△39
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△20
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△1
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	△42
受取利息及び受取配当金	△72
支払利息	7
為替差損益（△は益）	△15
投資有価証券売却及び評価損益（△は益）	△1
売上債権の増減額（△は増加）	2,243
たな卸資産の増減額（△は増加）	△1,705
仕入債務の増減額（△は減少）	△158
その他	574
小計	842
利息及び配当金の受取額	72
利息の支払額	△7
法人税等の支払額	△60
営業活動によるキャッシュ・フロー	847
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△8
定期預金の払戻による収入	497
投資有価証券の取得による支出	△2
投資有価証券の売却による収入	494
有形及び無形固定資産の取得による支出	△243
貸付金の回収による収入	1
関係会社株式の取得による支出	△126
その他	△37
投資活動によるキャッシュ・フロー	575
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額（△は減少）	23
長期借入金の返済による支出	△53
自己株式の取得による支出	△0
少数株主からの払込みによる収入	26
配当金の支払額	△126
財務活動によるキャッシュ・フロー	△131
現金及び現金同等物に係る換算差額	△36
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	1,255
現金及び現金同等物の期首残高	3,786
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,042

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

（４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（５）セグメント情報
ａ．事業の種類別セグメント情報
当第１四半期連結累計期間（自　平成20年４月１日　至　平成20年６月30日）

	建設機械関連事業（百万円）	環境及び産業機械他関連事業（百万円）	計（百万円）	消去又は全社（百万円）	連結（百万円）
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	3,144	1,163	4,307	－	4,307
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	3,144	1,163	4,307	－	4,307
営業利益（又は営業損失）	△8	14	6	(200)	△194

（注）１．事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。なお、メンテナンスサービスについては該当する製品の事業区分に含めております。
２．各事業の主な製品
(1) 建設機械関連事業……アスファルトプラント・リサイクルプラント・コンクリートプラント・コンクリートポンプ・破砕機
(2) 環境及び産業機械他関連事業……環境及び再資源化プラント・各種コンベヤシステム・仮設機材
小型コンクリートミキサ・ショベル・スコップ・水門等

ｂ．所在地別セグメント情報

当第１四半期連結累計期間（自　平成20年４月１日　至　平成20年６月30日）
全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が90％を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

ｃ．海外売上高

当第１四半期連結累計期間（自　平成20年４月１日　至　平成20年６月30日）
海外売上高の合計が連結売上高の10％未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

（１）（要約）四半期連結損益計算書

科目	前年同四半期 （平成20年３月期 第１四半期） 金額（百万円）
Ⅰ　売上高	5,343
Ⅱ　売上原価	4,176
売上総利益	1,167
Ⅲ　販売費及び一般管理費	1,330
営業利益	△163
Ⅳ　営業外収益	162
受取利息	24
受取配当金	40
持分法による投資利益	28
為替差益	46
その他	22
Ⅴ　営業外費用	16
支払利息	6
有価証券売却損	1
その他	8
経常利益	△16
Ⅵ　特別利益	7
貸倒引当金戻入益	7
Ⅶ　特別損失	－
税金等調整前四半期純利益	△9
法人税等	67
少数株主損失	0
四半期純利益	△76

（２）（要約）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前年同四半期 （平成20年３月期 第１四半期）
区分	金額（百万円）
Ⅰ　営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益（損失：△）	△9
減価償却費	138
のれん償却額	6
持分法による投資損益（利益：△）	△28
退職給付・役員退職慰労引当金の増減額（減少：△）	24
有価証券売却・評価損益（益：△）	1
投資有価証券売却・評価損益（益：△）	0
売上債権の増減額（増加：△）	1,143
たな卸資産の増減額（増加：△）	△1,234
仕入債務の増減額（減少：△）	42
その他	221
小計	305
利息及び配当金の受取額	47
利息の支払額	△6
法人税等の支払額	△217
営業活動によるキャッシュ・フロー	128
Ⅱ　投資活動によるキャッシュ・フロー	
有価証券の売却による収入	200
投資有価証券の取得による支出	△102
投資有価証券の売却による収入	104
有形・無形固定資産の取得による支出	△120
その他	46
投資活動によるキャッシュ・フロー	127
Ⅲ　財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額	37
配当金の支払額	△126
その他	△54
財務活動によるキャッシュ・フロー	△142
Ⅳ　現金及び現金同等物に係る換算差額	5
Ⅴ　現金及び現金同等物の増減額（減少：△）	118
Ⅵ　現金及び現金同等物の期首残高	4,325
Ⅶ　現金及び現金同等物の四半期末残高	4,443